教養教育センター付属研研究プロジェクト「他者との共生」再論：多文化共生・ノーマライゼーションの批判的検討を通じて×明治学院大学「内なる国際化」に対応した人材の育成プロジェクト共催研究会

難民 vs 日本人社員、心と言葉の壁を社内でどう乗り越えたか？
――難民雇用を通じた中小企業の内なる国際化事例 ――

開催日時　7月20日19時～
会場　明治学院大学白金校舎81会議室

講師　可部州彦氏（明治学院大学教養教育センター付属研研究員／本学非常勤講師／認定NPO法人難民支援協会　定住支援部就労チーム　コーディネーター）

進行　猪瀬浩平（教養教育センター）

本発表は、難民雇用に取り組んだ中小企業の「内なる国際化」の過程を、都内の企業の事例をもとに分析したものである。企業が直面する難民雇用課題を抽出し、それぞれが如何なる場面で発生したのかとあわせて整理する。そのうえで、企業がその課題を乗り越えていくプロセスを描出するとともに、その有効性や一般化可能性について参加者と議論しながら検討したい。

発表者の可部州彦氏は、非営利活動セクター・企業セクター・行政セクターのそれぞれにおいて難民支援の現場に長年携ってきた。今回も豊富な現場実践を元に発表を行っていただく。

入場無料・申込み不要

問い合わせ先：明治学院大学教養教育センター　kkc@gen.meijigakuin.ac.jp